



SSKP

発行
全国脊髄損傷者連合会
神奈川県支部
〒246 横浜市瀬谷区上瀬谷町26-28
電話 045-922-6324

編集人
山崎 昇

ホームページ <http://www.maxhi-ho.ne.jp/yawaragi/>
メールアドレス yawaragi@max.hi-ho.ne.jp



一堂に会して話し合いが行われた関東甲信ブロック会議

関東甲信ブロック会議開催	3
支部長 山崎 昇	
第六回関東甲信ブロック	4
スポーツ交流会開催	体育部長 路川 十九夫
身近な福祉機器を	5
見て・触れて	女性部長 赤城 喜久代
かながわ福祉機器評価・	6~7
モニター事業説明と協力への感謝	
神奈リハ 生活支援工学研究室長 藤井 直人	

東名・海老名サービスエリアの	8~9
トイレが画期的に変貌!!	
女性部長 赤城 喜久代	
支部初めての吹矢大会	10
体育部長 路川 十九夫	
支部総会、セミナーの案内	11
青い鳥郵便葉書の無償配布	
【全 員 動 向】 県庁障害福祉課組織改正	



神奈川トヨタ 暮らし方上手をお手伝い 福祉・介護カーショップ

乗る人、乗り方、いろいろあります。
たのしいクルマ、いろいろ作ります。

神奈川トヨタ取扱いの福祉車両「ウエルキャブ」のワイドバリエーションはもちろん、
現在お乗りの車もメーカーを問わず、お客さまのご要望にあわせて改良いたします。



●ステアリングホイールノブ

●エブリデー電動4輪車



介護・自立がテーマの高機能商品、
ご提案します。

たとえば段差昇降機や電動クルマ椅子など、
介護をする方にもされる方にも、便利で高機能
な商品を集めました。



いろいろな公的補助、
アドバイスをご提案します。

福祉車両のお求めや改良に際し、国や地方自治体
では各種貸し付け・助成制度や優遇税制制度を
用意しています。助成条件のご案内はもちろん、
申し込み方法などお客さまと一緒に考えて参り
ます。

自分らしく日々を暮らすご相談、なんなりと。

スタッフは福祉車両改造のスペシャリストを始め、日本
チェアスキー協会会長・元日本障害者スポーツ協会理事
伊佐幸弘氏など、強力スタッフ陣がお待ちしております。



レジャー&スポーツの楽しみ方、
ご提案します。

グッドオープンエアズ・マイクスと連携、
初心者から楽しめるスポーツ&レジャーを
ご紹介。バスケットボールやチェアスキーは
当ショップのおすすめメニューです。



Welcab
PRIUS
ウエルキャブ
新登場

Photo: プリウスS 助手席回転スライドシート車
"Bタイプ"車いすはオプション



横浜市神奈川区栄町7-1 マイクスビル2F TEL:045(459)2112
営業時間/10:00~20:00 www.kanagawatoyota.com

TOYOTA 神奈川トヨタ

関東甲信ブロック会議開催

神奈川県支部長 山崎 昇

関東甲信ブロック会議は、関東甲信九支部が持ち回りで開催することになっています。

十六年度は千葉県支部が担当で開催されたが、今年度(十七年度)は、神奈川県支部が担当として開催された。

八月二十日伊勢原フォーラム246で、ブロック連絡会議を開催した。

第二十八回関東甲信ブロック会議神奈川県大会に向け、各支部との打ち合わせ。

千葉県大会提案事項である、横断幕のパターン例示資料の確認。

社団法人全国脊髄損傷者連合会関東甲信ブロック会規約について。

新関東甲信ブロック長就任、挨拶。

十七年度ブロック会議本部提案事業議題。以上の様な内容で開催された。

ブロック会議は、十一月三日を開催予定としたが、他の支部より事業があるとのことで、五日にブロック会議をフォーラム246で、六日にスポーツ交流会(グラウンドゴルフ)を神奈川県総合リハビリテーションセンター陸上競技場で開催する事となった。

会議は、午後一時より開催され、いづれもどおり開催支部長の歓迎挨拶で始まり、関東甲信ブロック長挨拶、本部理事長の来賓挨拶、各支部出席者自己紹介となった。議長は、開催支部、副議長は、次期開催県の群馬県支部で、議事進行しました。

各支部より、事業報告、事業計画が報告され、要望事項、提案事項では、ヒトクローン医療技術を対応しての脊髄再生の早期実現。自動車重量税の見直しについて。コンビニや給油スタンドへの多機能トイレの設置。災害時における在宅重度障害者の支援、救助体制を確立する要望活動。宿泊施設・ホテルのより一層のバリアフリー化を望む。ETCの割引の更新期間が1年毎となっているが、これを延長してほしい。以上の様な要望が各支部より、提案された。

本部提案議題として、第五回総会山形大会への参加要請。会員増強計画についてのお願ひ。(現在連合会会員数は、三千六百名前後と年々会員が減少しているのが現状です)脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会参加の協力

要請。車いす使用者駐車場確保活動の方策提案のお願い。障害者自立支援法の取り組みについて。また、関東甲信ブロック長の活動報告、質疑応答が行われた。

今年度も、障害者駐車場についてが、議論になったが、各支部で、県に要望運動をしながら、本部でも、最終的にはまとめてほしいとの結論になった。障害者自立支援法についても、障害者が満足いくまで要望を続け、修正されることが必要だ。四時間にわたり議論され、要望事項によって、国、各支部が県、市町村に要望することとなった。

五時より、記念写真撮影、その後、懇親会が始まるまで、車いす業者の依頼で、車いす試乗モニターとしてアンケートに答えた。

懇親会は翌日グラウンドゴルフ大会があるので、酒はひかえめであったが、カラオケ、ビンゴゲームで、盛り上がった。

これまでにブロック会議で討議され、本部に提案して、医療費の免除、携帯電話の半額、ETCの一万円補助など沢山の成果を上げたが、今後も皆様の要望を全国脊髄損傷者連合会と各支部で協力して多くの成果を納めたいと思います。今後とも会員の皆様の協力よろしくお願いいたします。

第六回関東甲信ブロック スポーツ交流会開催

体育部長 路川 十九夫

平成十七年十一月六日、関東甲信ブロック「スポーツ交流会グラウンドゴルフ神奈川大会」が、神奈川県総合リハビリセンターの陸上競技場で行われました。



前日から天候がはつきりせず、グラウンドのコンディションが心配でしたが、どうにか開会式「セレモニー」を始めることができました。

この日は北風が吹きとても寒く、冷たい雨が降り出しそうな最悪なコンディションの中、選手たちはチームに分かれプレーを始めました。

芝が多く車いすをこぐだけでも大変な中、交流を深めるため試合に熱中して下さいました。

神奈川県支部は実際のところ、練習する機会があまりなく練習不足ながら何とか頑張ってくれました。しかし、日頃から練習熱心な他支部にはかないません。

今回も一位から三位まで、またもや千葉県支部に勝利は持っていけませんでした。

閉会式の頃には大粒の雨が降り出しましたが、大会を無事終わることができました。参加された選手の皆さんお疲れ様でした。次回はもう少し練習を重ねてから試合に望みたいと思います。



ブロック会長・長野県支部長宮本氏と山崎神奈川県支部長

グラウンドゴルフ大会成績

優勝	松田 利夫 (千葉支部)	45打
準優勝	久我 昇 (千葉支部)	47打
3位	今関 照代 (千葉支部)	50打
4位	今関 照男 (千葉支部)	50打
5位	佐久間 昌男 (埼玉支部)	51打
6位	米山 国雄 (東京支部)	51打
ホールインワン	小林 文彦 (山梨支部)	
	中内 貞夫 (千葉支部)	

ブービー

松田 安男 (神奈川支部)	鈴木 滋美 (神奈川支部)
---------------	---------------

身近な福祉機器を

見て・触れて

「TOTO福祉機器展」

女性部長 赤城 喜久代

福祉機器展などあちこちで開かれているが、実際にどのようなものがあるのかその実態を障害者自身がよくわかっていないということもあり、今回初めてTOTOの人に実物を持ってきてもらい説明をしてもらいました。

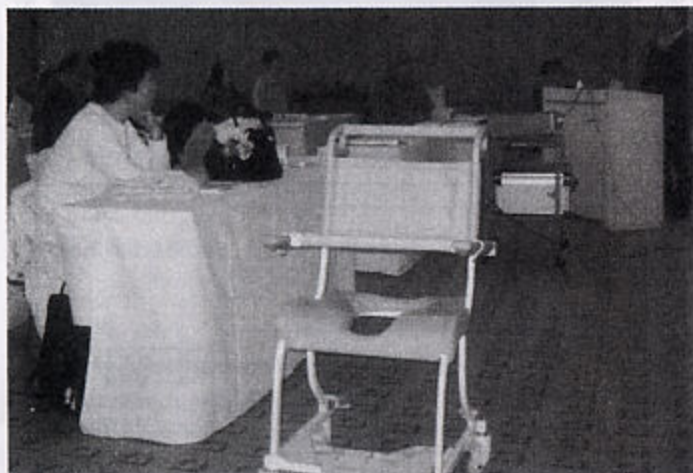
今回はお風呂用のバスリフトとトイレの便座から立ち上がるのを補助してくれるトイレリフトの2点の展示と説明がありました。

バスリフトは脊髄損傷などで足を使うことができなかったり、高齢で足が弱った人などの、浴槽での立ち座りや出入りをサポートするものです。

仕組みは、腰掛のシート部分が電動で昇降するので、入浴介護の負担が軽減、または一人で入浴することが可能になります。

今まで浴槽の出入りに不安を感じていた人にとっては、ただ浴槽にのせるだけで簡単に操作ができるこの商品は一つで簡単に操作ができるこの商品は、大掛かりな工事も必要なく、見た目もスマートで大変使いやすいものではないでしょうか。ただ難をいえば値段が少々高いことです。

一方、立ち上がりを補助してくれるトイレリフトは、主に高齢者向けである。立ち上がるときにひざや腰の負



担を軽減し、立ち上がる動作がスムーズに行えるようです。

そのほか、プロジェクターを使ってパブリックトイレなどの説明が行われました。

参加者は四十名で、普段非常に関心が深いものだけに、皆さん熱心に説明を聞き、疑問点等の質問を行っていました。

TOTOモニターの募集に支部より五名を推薦いたしました。お手数ですがよろしく願います。

「かながわ福祉機器目利き委員会」に福祉機器モニターの結果は報告されます。ここでは、モニターから明らかになった課題に対して、各専門家の立場から十分に検討し、助言または提言が出されます。この結果を元に報告書が作成され、福祉機器開発企業に送付されます。

3. 車いす（ラリー）のモニター結果

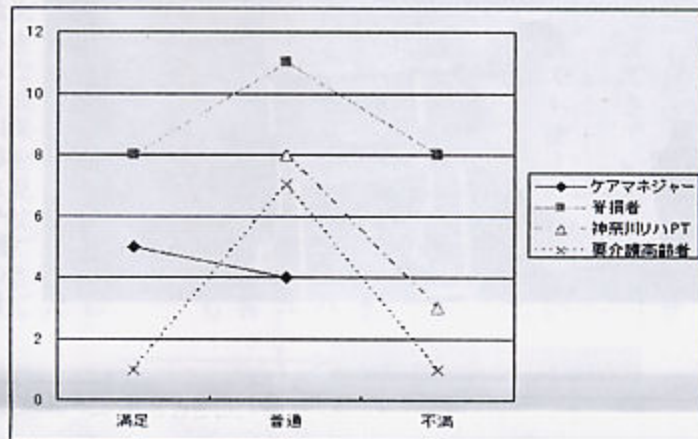
この車いすは工業デザインで、想定から後部座席の構造で、座面のクッション性を効果的にしない構造になっていません。この車いすを貴団体の関係者（アーマネジャー）で1時間程度のモニターに30名の皆様に協力していただき、評価結果として、開発者へ報告いたします。車いすのデザイン性について、「脊損者」と「要介護高齢者」とがほぼ同様な分布パターンを示しており、「満足」と「不満」とが同数あり、特に「脊損者」では3つにほぼ均等に分布していた。一方、「ケアマネジャー」は「満足」側に偏り、「理学療法士」は逆に「不満」側に偏った分布を示していた。

このように、モニター対象群の特性によって評価は分かれてくる

ことが理解できます。



写真 会場でのモニター事業説明



今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

4. まとめ

このモニター事業は福祉機器を開発している企業だけに利益があるのではなく、皆様方、利用者の意見を直接開発者に届けることによって利用者にとっても利益があるようにと気をつけております。

かながわ福祉機器評価・モニター事業説明と協力への感謝

神奈川県総合リハビリテーションセンター
地域支援センター 生活支援工学研究室長
藤井直人

1. 事業の役割と目的

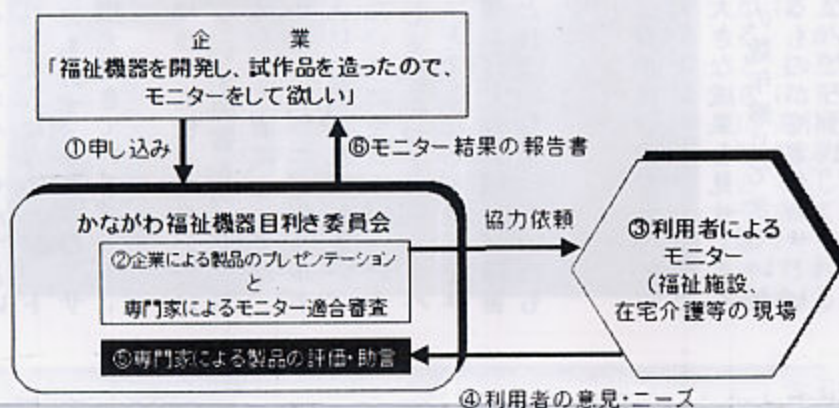
産業構造を20世紀型から21世紀型へ変革する政策が国会で議決されて、神奈川県では商工労働部の指導により「かながわ福祉医療コンソーシアム」が2000年6月に立ち上げられ、「福祉機器評価・モニター事業」は2002年6月に神奈川県総合リハビリテーションセンターに委託されました。

メーカーと利用者との間にケアマネジャー等が入り、適切な福祉機器を選択したり、福祉機器の代金は保険等が負担するなど福祉機器市場は複雑です。そこで、福祉機器を開発している中小企業と利用者との間に本事業が介入し、「福祉機器モニター」により高齢者・障害者の意見を聞き取り、その意見を商品化へ反映させ、品質が良く、安価な商品開発を間接的に支援することを本事業の目的としています。

2. モニター評価の実施方法

(1) モニター適正審査

福祉機器を開発した中小企業からモニターの希望申請があると、



「かながわ福祉機器目利き委員会」では、福祉機器としての①有効性、②安全性、③独創性、④モニターの有効性、等について審査されます。委員会に所属する委員は、福祉機器に関心が高

く、様々な角度から審査でき、現場で活躍している、大学教員、福祉機器専門家、福祉サービス専門家、福祉機器流通専門家、製造技術専門家、建築士、理学療法士、老人施設管理者等から構成されています。

(2) 福祉機器モニター

モニターは、対象機器の完成度、利用対象者と利用場面などを考慮し、①グループモニター、②個別モニターの2種類の形態でモニターを実施しています。

①グループモニター：2時間程度の時間内で10～20名の利用者グループに対象機器の使用を経験してもらい、評価用紙に結果を記入して頂きます。

②個別モニター：1週間から10日間かけて、利用者の生活場面で使用して頂き、その結果を評価用紙に記入して頂きます。

(3) モニター結果の評価

東名・海老名サービスエリアの

トイレが画期的に変貌!!

女性部長 赤城 喜久代

最近やたらと「ユニバーサル」という言葉が聞かれるようになったが、トイレもご多分にもれず、「ユニバーサルトイレ」が増えてきている。

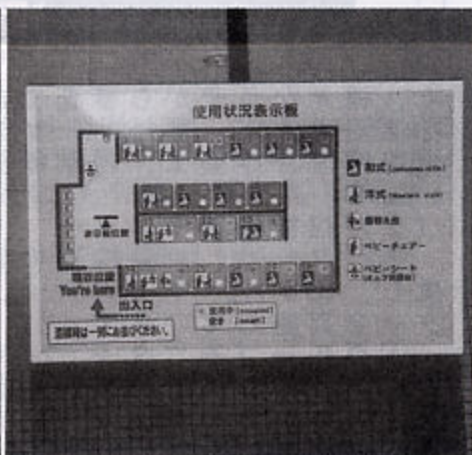
このトイレは誰でも使えて良いという半面、私たち車いす障害者のように、「そこしか使えない」者にとっては、たった一つしかない、ユニバーサルトイレが一般の人に占領されてしまい、障害者が使いたい時に使えないということが起きてしまいかねず、「ユニバーサルトイレ」とするなら、全部をユニバーサルトイレにしない限り、障害者は使えないと日頃から思っていたものだ。

四〇五年前に脊損連合会が全国的にSA・PAでの一大キャンペーンをやったことがその後大きな成果を見せてきていることはこの数年感じてきていたが、その最たるものが海老名のサービスエリアではないだろうか。

海老名のサービスエリアは上下ともにトイレが大きく進歩し、そのほとんどが「ユニバーサルトイレ」といえるものになっている。ただし、これは今のところ女性用のみである。



入口の上に電光掲示板で使用状況が表示される



電光掲示板

具体的に言うと、まずトイレの入り口に電光掲示板があり、それは「使用状況表示板」となっているが、トイレの種類とそのトイレが使われているか空いているかを現している。

トイレの種類としては、和式、洋式、着替え台のある洋式、ベビーチェアが付の洋式、ベビーシート(オムツ交換台)付洋式の五種類ある。

もちろん車いすは和式を除きどのトイレも使用可能である。

なぜ和式があるのかと思うところだが、きれいな好きの日本人には和式が良いという人も確かにいるのだろう。

障害者でも、ただ流すだけで済むという人には、入り口は車いすが入るのでこれも使えないこともない。

男性用トイレは残念ながら、普通の車いすトイレが二カ所あるのみであるが、ただ男性トイレの中には、ベビー用のおむつ交換台も備え付けてある。

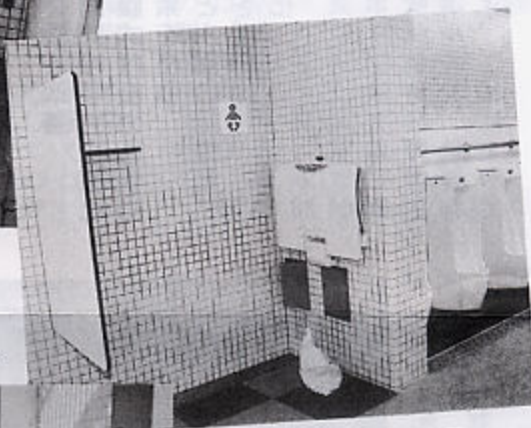
そのほか、洗面台も一段低くなっているのがあるので、小さい子供や車いす用ということであろう。

今後は、男性用トイレは車いすトイレが二カ所しかないので増やしてもらう必要があるのだろう。

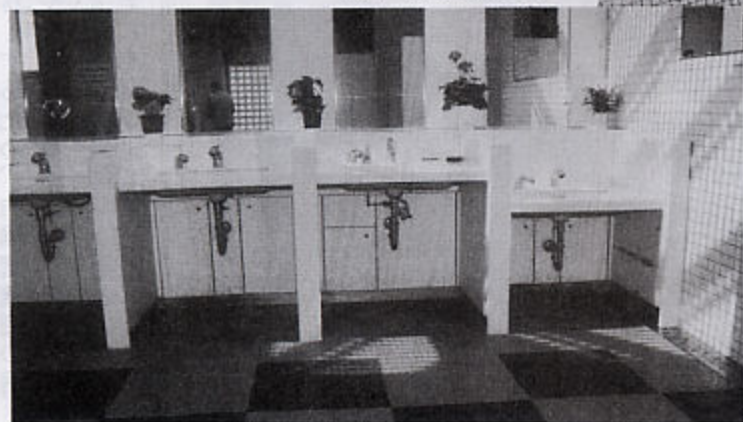
いずれにしても私たちが声を出していくことで、やはり世の中は変わっていくものであることを改めて感じた。



車いす用トイレ



車いす用の手洗い台



男子用トイレの中にある
ベビー用ベッド

支部初めての吹矢大会

体育部長 路川 十九夫

平成十七年十二月神奈川県支部では、初めての吹矢大会を伊勢原フオーラム246で開催しました。正式には「スポーツ吹矢」といいます。吹矢は呼吸器の運動になり、吸ったり吐くことにより肺機能にもプラスになります。

また、胸筋・腹筋が強化され健康に大変よいスポーツです。頸椎損傷の方でも参加できます。千葉県支部、東京支部からも参加してください。初めての吹矢大会を、楽しみながら取りくむことができました。

単純なスポーツのようで興味深さを感じ、またやってみたいとリクエストもありました。健康効果がありそうなのでまた練習大会を開き続けていきたいと思えます。

今回参加された会員の方々お疲れ様でした。まだ経験されていない会員の皆様、健康に良いスポーツ吹矢を体験してみたいかがでしょうか。

スポーツ吹矢とは

スポーツ吹矢は、胸式・腹式呼吸による健康法が自然にできることと、的に矢を命中させた時の爽快感を伴った競技としての楽しさに特徴があります。長さ五十cm〜百二十cmの細長い筒に二十cm程の長さの安全な矢を入れ、五m〜十mの位置から三十三cm×三十三cmの大きさのウレタン製のやわらかい的に腹式呼吸で矢を飛ばし、命中率を(点数)を競う、誰でもどこでも手軽に楽しめる安全なスポーツです。

健康的効果

- 1 延髄を活性化し体調を改善
- 2 胸筋が鍛えられ胸式呼吸力を強化
- 3 腹筋が鍛えられ腹式呼吸力を強化
- 4 体の隅々まで酸素を摂取
- 5 血液の縦貫促進と内臓の活性化
- 6 腸を刺激し働きを活性化
- 7 精神集中力を強化
- 8 ストレスの解消

以上のように、スポーツ吹矢は、胸式と腹式のスポーツ吹矢特有の呼吸器法によって、酸素、ホルモン、栄養を体の隅々まで供給でき、これによって

全身の細胞を活性化させ、自律神経の働きを良くするため、内臓諸機関の病気の予防や便秘、食欲不振、不眠症、ストレスの解消にとどまらず、老化の防止や美容にも効果的です。



筒を保持できない人でも自作した載せ台を使ってゲームに参加した

平成十八年度支部総会、 セミナーの案内

日時 平成十八年六月十一日(日)
場所 フォーラム246 会議室

伊勢原市石田350
Tel 0463・96・3711

総会 午後一時～三時
セミナー 午後三時～五時三十分
テーマ だれでもわかる
障害者自立支援法
懇親会 午後六時三十分より

青い鳥郵便葉書の無償配布

重度の身体障害者(一級又は二級)、
重度の知的障害者に配布されます。
くぼみ入りの通常郵便葉書二十枚で
す。代理人又は郵便でも申し込みでき
ます。
郵便の場合は別記用紙に「青い鳥郵
便葉書配布申込書」と明記した適宜な
用紙に、手帳の種類、手帳番号、級別
又は程度、住所・氏名を記入して、配
達受け持ち郵便局に送付します。
申込みのメ切は五月三十一日です。

会員動向

(新入会員)

岩崎 利恵 (川崎協会)

川崎市幸区南幸町2・8

オーベル川崎402

安楽 武芳 (横浜協会)

横浜市港南区日野中央

3・9・1・307

平塚 美子 (県央協会)

相模原市相武台

3・22・1・102

樽角 好昭 (西湘協会)

足柄下郡湯河原町城堀9・7

(移籍会員)

川満 寿雄 (北海道支部)

札幌市北区新琴似1条10丁目

6・10・102

障害福祉課組織改正のお知らせ

障害者自立支援法の施行等を踏まえ、
三障害一体の障害福祉施策を推進する
ため、県障害福祉課の組織が次の通り
改正されましたのでお知らせします。

■新たな体制制 **ダイヤルイン**

◇ 運営指導班

045121014705

◇ 社会参加推進班 045121014709

◇ 自立支援調整班 045121014717

◇ 地域生活支援班 045121014713

◇ 医療・精神保健班 045121014727

◇ 施設福祉班 045121014724

◇ 各班の主な業務

◆ 運営指導班……課の予算・決算、
県立障害福祉施設の運営指導など

◆ 社会参加推進班……かながわ障害
者計画・障害福祉計画、障害者の就労
支援、障害者スポーツの振興、社会参
加促進など

◆ 自立支援調整班……障害者自立支
援法の施行調整、県障害者介護給付費
等不服審査会の運営、事業者の指定及
び指導など

◆ 地域生活支援班……居宅介護等の
在宅福祉事業、相談支援体制の整備、
障害児療育支援、在宅重度障害者等手
当の支給など

◆ 医療・精神保健班……障害者自立
支援医療、重度障害者医療支援、精神
科救急医療体制の整備、こころの健康
づくり対策など

◆ 施設福祉班……民間障害福祉施設
の運営指導・整備、施設入所・グルー
プホーム等の居住支援、地域生活移行
支援など

人とともに、 車とともに…。

自由に気軽にラクラクおでかけ、
ちょっと遠出もしたくなる。
そんな快適なカーライフをお届けするために、
ニッシン自動車グループは歩み続けます。



GO TO DRIVE TOGETHER

APドライブ



オートスピーコン



オートボックス



オートリフト



手動式運転装置、運転補助装置、車椅子の収納装置、リフト、介護車両、マイセルフ、タクシー等、全国をトータルにサポート致します。お気軽にお問合せ下さい。



福祉車両総合メーカー 株式会社ニッシン自動車工業
〒349-1148 埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台1-563-12 E-mail jkbu@nissin-apd.co.jp
TEL.0480-72-7221 FAX.0480-72-7223 URL http://nissin-apd.co.jp

株式会社ニッシン特装(リフト事業部)
〒347-0010 埼玉県加須市大森1-17-2 E-mail tokuso@nissin-apd.co.jp
TEL.0480-67-1414 FAX.0480-67-1424

NISSIN JIDOSHA GROUP

一九七七年十二月三日第三種郵便部認可
二〇〇六年五月一日発行(毎月十八回)・二・三・五・六・七の日発行
SSKP通巻第三一四七号

編集人

横浜市瀬谷区上瀬谷二六―二八

発行人

特定非営利活動法人
障害者団体定期刊行物協会

定価

三〇〇円

「和」編集部

山崎 昇

東京都世田谷区砧六―二六―二二